

特集1

Take Roots from N-Ground '09

みなさんは「Take Roots from N-ground」というお祭りをご存知でしょうか？ 学内外で広報していたので知っている方もいるかもしれませんが、もしかしたら参加したという方もいるかもしれません。

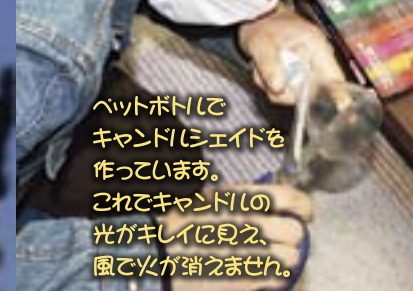
「Take Roots from N-ground」は「学生と地域をつなぐ」ことを目的としたお祭りで、すべて学生主体で企画・運営されています。今回、新大広報では10月31日に開催された「Take Roots from N-ground '09」の準備・当日の様子を取材しました。

Take Roots from N-ground とは

新潟大学のキャンプ場で、開催される野外音楽イベント「Take Roots from N-Ground」
新潟に根を張り活動するアーティストたちのライブ、ライブペイント、展示会。
さまざまな分野で新潟を盛り上げようと奮闘する方々の講演会。
伝統文化体験、ワークショップ。
Take Rootsはこれらのことを通じて、学生と地域の新たなつながりを生み出すことを目的としたお祭りです。
私たち学生編集スタッフもこのイベント企画を通じて、地域の魅力、新潟の魅力を感じ、それを受け、
私たちに何ができるのかということを考えていきたいと思っています。

いきさつ

全国各地、世界各地で開催されているEARTHDAY(地球のことをかんがえる日)というイベントがあります。「新潟大学でもEARTHDAYのようなイベントを開きたい」という有志の学生により、2008年に第1回目の「Take Roots from N-Ground」が開催されました。take rootsという名前には「根を張る」という意味があり、新大生に新潟の地に「根付く」住民であるという意識を持ち、新潟をもっと盛り上げていくために何ができるかを考えてもらう機会にしています。今回で2回目の開催となります。



ホットボンドで
キャンドルシェイドを
作っています。
これでキャンドルの
光がキレイに見える。
風で火が消えません。



ビニール傘にカラフルなデコレーションをしています。
この傘はどのように使われるのでしょうか？



廃油を薬品で固め
キャンドルにします。
クッションを入れると
こんなにキレイな色に!!

～事前準備～

イベント準備中、代表の飯塚さんをはじめスタッフの方にいろいろ質問をぶつけてみました!

スタッフとして参加した理由を教えてください。

「学生と地域をつなげて、新大エリアを盛り上げたい! 学生の意識、価値観を変えたい!」と思ったからです。(飯塚)

学生が企画から運営までのすべてを0(ゼロ)から作りあげているのにとっても魅力を感じたからです。また、このイベントを通して普段の大学生活では絶対に会えないような人たちと出会えると思ったからです。(小川)

準備では何を担当していましたか？

またはどのような作業をしていましたか？

主に看板作りを担当していました。西門入り口に貼られていた看板は自分が描いたものです(笑)(佐藤)

広報を担当しました。仕事はブログでの活動報告や協賛団体の紹介、イベントの告知、協賛まわり、ポスターやフライヤーの配布、ピア配りなど。また、会計も担当していて、仕事は協賛金の収集・管理、準備費用・出演料等の割り当てなど…。(百瀬)

準備をしていて感じたことは何ですか？

学部・学年を超えていろいろな人と出会えたことがうれしかったです。美術部の人と看板を描いたりしたのですが、やはり本業の人にはかないませんね。(佐藤)

新しいお友達が出来ました。タルチョ(旗)を縫う作業は地道でした。(森)

キャンプ場にヤギを放てなかったコト!(角地)

今まで「何かを始める人たち」を遠くからすごいなあと思って見ていただけで、自分が参加することはなかったから、今回一緒に準備できて大きな刺激となりました。(渡部)

どんなお祭りにしようと準備してきましたか？

やっぱり普段の大学ではあり得ない、良い意味での「異質な空間」になればいいなと思っています。また、大学生だけでなく地域の子供からお年寄りまでほんとうにさまざまな人たちが互いに縦にも横にも触れ合えるようなお祭りになればいいなと思っています。(小川)

学生がたくさん足を運んでくれるようなイベントに! 学生が地域の人とふれあえるようなイベントに!とにかく楽しいイベントに!(百瀬)



各々の感性を活かし
看板を作ります。
ここにも匠がいました。



お祭り前日です。
この日は30人がかりで準備しました。



いらなくなった服を利用して
フェルト坊主を作っています。
当日晴れるのでしょうか？



この日は新メンバーが
3人加わりました。
もうこんなに仲良くないました☆



当日の流れや
各担当の進捗状況を
確認しました。



ファミリーション
クラフティックを
使っています。

Photo snap

イベント 当日 新潟大学五十嵐キャンパスキャンプ場 10月31日(SAT)



早朝の準備の様子

朝早くのためか、皆眠そうにしていたのですが、このイベントを成功させたいという気持ちから、豚汁作りやステージの機材運び、テント張りなどブースごとに、着々と準備を進めていました。(俊樹)

会場の雰囲気 1

天気にも恵まれ、ほのぼのとした雰囲気、時間がゆっくり進んでいるように感じました。お昼になるにつれ、来場者が増えてきて、スタッフの方々も来場者と共にイベントを楽しんでいました。(俊樹)



会場の雰囲気 2

緑に囲まれた会場の中心には、たき火。その周囲には想像力をかきたてるアート。見上げれば青い空と様々な色のフラッグ。10月31日、教育学部の裏にあるキャンプ場の景色は夢のようでした。(安藤)

講演会

午後の温かい日差しの中、新潟青年協力隊の谷口さん、新潟市西区の岡田区長の講演には多くの人が耳を傾けていました。素敵なお話やタメになる話に参加者も満足していたようです。(馬場)



パワーライザー試乗会

パワーライザーとは、脚に装着して使用する西洋竹馬の一種で2メートル程度まで飛び上がることができます。歩くことさえもとても難しかった!でもジャンプしてトランポリンのように跳べた時は快感でした!(百瀬)



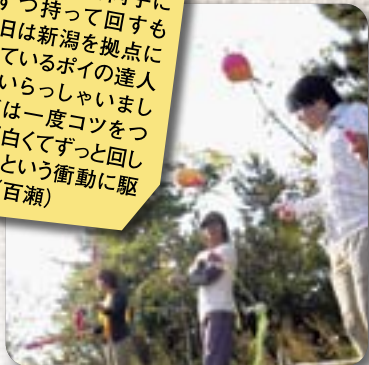
エコバッグ作り

シルクスクリーンという技法でオリジナルのエコバッグを作れるブースです。「楽しそう!」「カッコイイ!」と、学生からおばさま方まで大人気。(三木)



入門ポイ体験

ポイとはジャグリング道具のひとつ。紐の先端に玉がついており、両手につづつ持って回すもの。当日は新潟を拠点に活動しているポイの達人たちがいらっしました。ポイは一度コツをつかむと面白くてずっと回っていたいという衝動に駆られます!(百瀬)



廃油キャンドル作り

このワークショップは廃油の再利用と、キャンドルの明かりで電気のありがたさを感じるという2つのエコの意味が込められているそうです。廃油の色が出てしまうのが難しいところですが、皆さん工夫してきれいな色を作っていました。(三木)



Liveペイント

-tamalele・BxBstones- 新潟を拠点に活動されているお二人がイベント開催中、キャンプ場で絵を描いていました。絵がだんだんできあがる風景をみることもできるのもLiveペイントの良さですね。(百瀬)



内野盆踊り

地域の方々をお手本に、輪になって踊りました。初めての人も見よう見まねで楽しそうに踊りを覚えていました。(三木)



音楽

レゲエ・ロック・アコースティック・ウクレレ・パーカッション・ふんどしの人。新潟に根付いて活動しているアーティストによる音楽ライブ!! なんて異空間!!(福野)



写真展 -高田真裕・Kurico-

藤棚からつるされた写真が、風に揺られなんとも綺麗でした。屋外で写真を見るということが新鮮な写真の見かたでした。(俊樹)



新潟味覚市

野菜たっぷりの豚汁。たき火で焼いた焼き芋。白く輝くおにぎり。この3品が、何と無料の新潟味覚市!さらに内野にある榎木酒造が心を込めて作った地酒「鶴の友」の試飲会も開催!今、この土地にいて本当に良かった!(安藤)



ファイナーレ

お客さんもアーティストもスタッフもみんなでジャムセッション&ダンス!! ファイヤーポイもぐるぐるぐるぐる回り、みんなの目を奪いました。(福野)



キャンドル

会場のいたるところに設置された、キャンドル。日が暮れて火が灯されると、その優しい明りに多くの人が魅了されていました。とても素敵でした。(馬場)



Guest's voice 【参加者の声】

当日見に来てくれたお客さんやアーティストにインタビュー!

留学生

何を見ていらっしやいましたか?

「学務情報システムのメールで送られてきて知りました。いろいろ体験してみてください、という趣旨で送られてきたもの一つだったんです。」

始まったばかりですが来てみてどうですか?

「すごく小さな、学校の文化祭みたいでとてもわくわくしています。」

若者

今日来てみていかがですか?

「雰囲気、音楽がいいですね。音が遠くまで聞こえていて、楽しそうだな~と思って来てみたら、ホントにみんな楽しそうにしている。こうやって食べ物も食べれたりキャンドルも作れたりして楽しいイベントだと思います。」

ふるまいはおいしかったですか?

「サツマイモがすごくいい焼き具合でした。中が黄色くておいしかったです。」

このあとも何か見て回りますか?

「エコバッグが作れそうなので見てみたいと思います。」

アーティストPHOKA

普段は何をしている方なんですか?

「普段は犬の散歩をしたり、おうちでご飯を作ったりしています。絵を描くのと歌うのが好きなので、たまに友だちのイベントに出させてもらったり、あとライブペイントをしたりしています。」

どうですか、今日のイベントは?

「いいんじゃないでしょうか。大学ってどんな感じなんだろうと思っていただけ、デコレーションもすごくかわいいし、すごくいい感じで、ゆるくて暖かい感じができてます。」

盆踊りの後、参加者にインタビュー!

学生 経済4年

参加してみてどうですか?

「最初は全然踊りがわかんないと思ったんですけど、見よう見まねで踊っていたら意外とできるようになって面白かったです。」

このイベントについてどう思いますか?

「連れられてきたんですけど、参加してみたら非常に楽しくて、これからも楽しめたらなと思います。」

学生 教育4年

参加してみてどうですか?

「初めての人と初めての曲を踊って楽しいことだなと思いました。」

今日のイベント参加してみてどうですか?

「一日だけじゃもったいないなというのが正直な感想です。」

内野のおばあちゃんたち

このお祭りに参加してどう思いましたか?

「楽しかったです。学生さんが一生懸命にがんばってくれて、とてもよかったです。」

盆踊りはどうですか?

「学生さんもよく踊ったし、私たちも一生懸命に汗かいて踊って、とてもよかったですよ。また来年もお願いします。」

このイベントは学生と住民の協力してやっているんですけど、どう感じましたか?

「すごくいいですね。若い人と一緒に踊るということは、パワーをもらえて。」

また機会があったら参加してみたいと思いますか?

「はい、参加してみたいです。」

赤ちゃんのおかあさん

このお祭りに参加してみてどんな感じでしたか?

「意外と地域の皆さんとかいろいろの方が来ていて楽しそうでした。特に盆踊り。」



Take Roots from N-Ground '09

Staff's voice

【運営スタッフの声】

イベント後スタッフに感想を聞いてみました。

当日は本当にあっという間に終わってしまいました。来てくれた人たちだけでなく僕自身も楽しめたことが一番良かったと思います。イベントに参加してくれた人たちはみんな良い笑顔をしていてとても感動しました。(教育学部1年)

楽しかったですね。去年よりもいっぱい人が来てくれたので、去年とは違った色があって今年は今年ですごくよかったなと思っています。初めて会った人とでも一緒に話して盛り上がるという体験ができる、こういうイベントをこれからも続けていってほしいです。(科目等履修生)

アーティストの名目で参加させていただきましたが、準備に参加してすごく楽しかったので進んで協力したいと思いました! 写真見てくれた方ありがとうございます!(カメラマン 高田真裕)

最後にTake Roots from N-ground '09の代表を務めた飯塚さんにインタビューしました。(インタビューア:馬場)

今 Take Rootsが終わったんですけども、感想を率直にお願いします。

想像していなかったような結果になって、本当に大満足。去年よりもお祭りに来てくれたおじいちゃん、おばあちゃんの数も増えたり、いろんな年代の人がどんどん大学の中に入り込んできてくれて、学生と地域をつなげるというキッカケを作ることができたのかな。いろんな人たちを大学に取り込んで、いろんなアクションがどんどん起こるような環境が生まれるようになってほしいと思いました。



人文学部4年 飯塚光太さん

外部からもゲストを呼んだりして大掛かりなイベントでしたけど、大変でしたか?

大変でしたね。「準備をやらなきゃ」と思い立つのがちょっと遅かったのも、本当に準備中はバタバタでメンバーも集まらなくて、本格的にイベントをやろうという空気になってきたのが2週間ぐらい前からだったんです。だから不安になることが多かったですね。でも自分一人だけの力じゃなくて、周りの協力を、頑張ってくれたからこそだと思います。会場のデコレーションや、アーティストのブッキングで頭を悩ませて頑張ってくれたり、調理も当日いきなり「手伝って」と言ったにもかかわらず手伝ってくれたり、本当に期待以上の成果を残してくれたと思います。周りが頑張ってくれたからこそ、ここまでのものができたと思っています。

やりきって大満足?

満足はしているけど、もちろん反省点はいっぱいありますね。広報をもう少し頑張ればよかったとか、もう少し最初から役割分担を決めて仕事をしっかりやっていくことを徹底すれば良かったな、とか。そういうところを直していければ、もっとよくなると思うんです。今回のお祭りもうまくいったと思うんですけど、今後に向けてしっかり反省をして、その反省を来年につなげていってほしいなと思っています。

Take Roots from N-groundのホームページ <http://take-roots.jugem.jp/> こちらにも当日の様子などが載っています

